

Enjoy  
Concerts!

## プラチナ・シリーズ

Platinum  
Series

4

ロン・カーター

Ron Carter



©Fortuna Sung



～キング・オブ・ジャズ・ベーシスト～

2018年  
(平成30年)

12月12日

| 水 |  
| Wed |

19:00

開演 (18:30開場)  
Start (18:30 Open)東京文化会館 小ホール  
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

## 【出演】

RON CARTER with Strings featuring HAJIME MIZOGUCHI  
 ロン・カーター (ベース)  
 Ron Carter, Bass  
 溝口肇 (チェロ) 他  
 Hajime Mizoguchi, Cello and others

## 【曲目】

当日発表  
 To be announced on the day

〈全席指定・税込〉

S 5,000円 A 4,000円 B 2,500円 25歳以下 1,000円 ※要証明書

## ■お申込み

東京文化会館チケットサービス……………03-5685-0650 [www.t-bunka.jp](http://www.t-bunka.jp)  
 イープラス……………<http://eplus.jp/t-bunka/>

3/3<sup>±</sup>  
発売

※8席・25歳以下席・車椅子席 (S席) は東京文化会館チケットサービスのみ取り扱い。  
 ※都合により曲目等、変更の可能性がございますのでご了承ください。  
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。  
 ※託児サービス (要予約・有料・12/5 (水) 17時締切・定員あり) があります。  
 イベント託児・マザーズ 0120-788-222

ローソンチケット……………0570-000-407 l-tike.com  
 チケットぴあ……………0570-02-9999 t.pia.jp

主催：東京都／東京文化会館・アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

お問合せ：東京文化会館 事業係 03-3828-2111 (代表) [www.t-bunka.jp](http://www.t-bunka.jp) Twitter [@tbunka\\_official](https://twitter.com/tbunka_official)Tokyo Tokyo  
FESTIVAL東京文化  
会館

Tokyo Bunka Kaikan

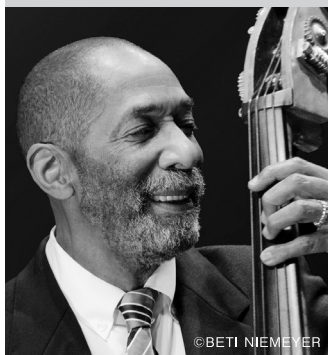
4 ロン・カーター

秋吉敏子、渡辺貞夫、北村英治と、邦人ジャズ・レジェンドが出演してきた「プラチナ・シリーズ」に、米国人ベーシストのロン・カーターが登場する。1960年代に当時の最先端を牽引したマイルス・デイヴィス・クインテットで高い評価を獲得して以来、81歳の現在まで常にジャズ界の第一線に立ち、最大級の貢献を続けてきた。今回は“ウィズ・ストリングス”と題して、チェリストの溝口肇と共演。複数の弦楽器とのアンサンブルはロンの長いキャリアにおける作品の中では限定的で、それだけに新鮮味があり冒険心も感じさせる。ピアノや管楽器ほどストリングスとのコントラストを描けるわけではない点で、ベースが主役のユニットが目指すのは、技巧と音色が個性的なロンの魅力を、新しい形のサウンドとして届けたいということではないだろうか。昨年ジャズ・ピアニスト4名を起用したアルバムを発表して、ジャズ気分が高まる溝口と巨匠の共演に期待が寄せられる。

杉田宏樹(音楽評論家)

ロン・カーター(ベース)

Ron Carter, Bass



©BETI NIEMEYER

1937年5月4日生まれ。現代ジャズ界最高峰のアーティスト。ジャズ・ベースの神様。10歳の頃よりチェロのレッスンを受け始め、ハイスクール時代よりベースを弾くようになる。63年、マイルス・デイヴィスのクインテットに参加。ハービー・ハンコック、トニー・ウィリアムスと<不動のリズム・セクション>を形成する。このマイルス・バンドは<黄金のクインテット>と呼ばれ、60年代アコースティック・ジャズの頂点を極めた。68年、マイルス・デイヴィス・クインテットを脱退。フリーランサーとなり、さまざまなミュージシャンと共演する。77年、マイルス・デイヴィス・クインテットの再編を企画したニューポート・ジャズ・フェスティバルのプログラム“VSOP”に出演。たった1回のイベントのつもりが大反響を巻き起こし、世界ツアーを行う。86年サントリー・ホワイトのTVコマーシャルに出演。評判を呼ぶ。同コマーシャルの使用曲を含むアルバムは大ヒットする。92年、東芝EMI移籍。バツハを取り上げた第1弾アルバム、「G線上のアリア」は大ヒット。その後もクラシックをテーマにした「フレンズ」「ブランデンブルグ協奏曲」を発表。ジャズ作品では「ジャズ・マイ・ロマンス」「ベース・アンド・アイ」「ソー・ホワット」などの意欲作を発表し続けている。99年6月、ボサノバ作品「オルフェ」発表しベストセラーになり、翌年続編ともいふべき「ホエン・スカイズ・アー・グレイ」を発売。2001年10月、巨匠オスカー・ペティフォードに捧げた作品「スターダスト」を発表。2006年07月、今は亡き帝王、マイルス・デイヴィスに捧げた「ディア・マイルス」を発売。2007年5月、伊藤園/TULLY'Sより新発売されるチルドカップコーヒー「BARISTA'S SPECIAL」TV-CMキャラクターとして登場、CMソング「イツ・ザ・タイム」を書き下ろした。

溝口肇(チェロ)

Hajime Mizoguchi, Cello



チェリスト・作曲家、プロデューサー。カラヤンをテレビで見て3歳からピアノを始め、11歳よりチェロを始める。東京藝術大学卒。1986年ソニーよりデビュー。以後、クラシック、ポップス、ロックなど幅広いジャンルで活躍。テレビ番組「世界の車窓から」のテーマ曲はあまりにも有名。自身の音楽を「心の覚醒」と位置付け、奏でるチェロの美しさ、ホスピタリティあふれるサウンドは、ジャンルを越えて多くの人を魅了し続け、ミュージックシーンに独自のスタンスを確立している。GRACE MUSIC LABELを主催し、CD制作、ハイレゾ音楽制作を行っている。最新鋭レコーディングにも精通し、ハイレゾ最高峰であるDSDでの制作、配信も精力的に行っている。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

1 2018年(平成30年)6月15日|金|19:00開演  
マリオ・ブルネロ  
～イタリアの名匠が贈るチェロの旅～



出演:  
マリオ・ブルネロ(チェロ)  
江口玲(ピアノ)

曲目:  
ドビュッシー:チェロ・ソナタ 二短調  
フランク:チェロ・ソナタ 長調  
カサド:無伴奏チェロ組曲  
ピアノ:アディオス・ノニーノ  
リベルタンゴ  
格蘭タンゴ



©小林邦秀

2 10月26日|金|19:00開演  
ブルーノ・レオナルド・ゲルバー  
～世界の至宝が奏でるピアノ名曲選～



出演:  
ブルーノ・レオナルド・ゲルバー(ピアノ)

曲目:  
ベートーヴェン:  
ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」  
シューマン:謝肉祭 Op.9  
ショパン:練習曲集より  
バラード 第4番 へ短調 Op.52  
アンダンテ・ピアノと華麗なる大ポロネーズ Op.22

3 11月16日|金|19:00開演  
吉野直子&徳永二男  
～ハープとヴァイオリン、華麗なるデュオ～



出演:  
吉野直子(ハープ)  
徳永二男(ヴァイオリン)

曲目:  
サン＝サーンス:ヴァイオリンとハープのための幻想曲 Op.124  
シューベルト:ソナチネ 第1番 二長調 D384  
クライスラー:愛の喜び  
マスネ:タイスの瞑想曲 他



©K.Miura

5 2019年(平成31年)1月26日|土|15:00開演  
有田正広&上原彩子  
～バロックからモダンへ～



出演:  
有田正広(フルート)  
上原彩子(フォルテピアノ/ピアノ)

曲目:  
モーツァルト:ピアノ・ソナタ 長調 K.330  
ピアノとフルートのためのソナタ 長調 K.379  
C.P.E. バツハ:無伴奏フルートのためのソナタ 短調 Wq.132  
ブラームス:ピアノのための6つの小品 Op.118より 1, 2, 3 他



©Hikaru

1回券 S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥2,500  
25歳以下 ¥1,000 ※要証明書 3月3日(土)発売



- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分